

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】令和 6 年 6 月 27 日(2024.6.27)

【公開番号】特開 2022-31188(P2022-31188A)

【公開日】令和 4 年 2 月 18 日(2022.2.18)

【年通号数】公開公報(特許)2022-030

【出願番号】特願 2021-126003(P2021-126003)

【国際特許分類】

B 6 5 D 83/14(2006.01)

10

A 0 1 P 7/04(2006.01)

A 0 1 N 53/08(2006.01)

A 0 1 N 25/06(2006.01)

A 0 1 N 25/02(2006.01)

A 0 1 M 7/00(2006.01)

B 0 5 B 9/04(2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/14 1 0 0

A 0 1 P 7/04

A 0 1 N 53/08 1 1 0

20

A 0 1 N 53/08 1 2 5

A 0 1 N 25/06

A 0 1 N 25/02

A 0 1 M 7/00 S

B 0 5 B 9/04

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 6 月 18 日(2024.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

30

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

___ 匍匐害虫、ダニ防除成分と有機溶剤とを含有するエアゾール原液、及び噴射剤が封入される耐圧容器と、

ステムとステムラバーとスプリングとを含む弁機構、及び前記弁機構を収容するハウジングを有し、前記耐圧容器の口部に組み付けられる定量噴射バルブと、

前記定量噴射バルブに接続される噴射口が設けられた噴射ボタンと、

40

を備えた匍匐害虫、ダニ防除用エアゾールであって、

エアゾール原液の 20 における動粘度は、2.0 ~ 20.0 c S t であり、

前記ステムラバーの材質は、アクリロニトリルブタジエンゴム及び / 又はイソブチレンイソブレンゴムを含み、

前記噴射口からの距離が 5 c m の箇所において噴射力が 3 ~ 5 0 g f となるように設定されている匍匐害虫、ダニ防除用エアゾール。

【請求項 2】

___ 前記ステムラバーの材質は、アクリロニトリルブタジエンゴムである請求項 1 に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾール。

【請求項 3】

50

前記スプリングは、バネ定数が 2.0 N/mm 以上のスプリングである請求項 1 又は 2 に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾール。

【請求項 4】

前記有機溶剤は炭素数が 2 ～ 3 の低級アルコール、炭化水素系溶剤、炭素数が 16 ～ 20 の高級脂肪酸エステルからなる群より選択される 1 種又は 2 種以上である請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾール。

【請求項 5】

前記エアゾール原液 (a) と前記噴射剤 (b) との容量比率 (a/b) は、 $2/98 \sim 55/45$ である請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾール。

10

【請求項 6】

前記匍匐害虫、ダニ防除成分は、トランスフルトリン、メトフルトリン、フェノトリン、ペルメトリン、シフェノトリン、シフルトリン、トラロメトリン、デルタメトリン、シペルメトリン、イミプロトリン、メトキサジアゾン、サリチル酸ベンジル、安息香酸ベンジルからなる群より選択される 1 種又は 2 種以上である請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾール。

【請求項 7】

前記匍匐害虫、ダニは、ゴキブリ、トコジラミ、屋内塵性ダニ類からなる群より選択される 1 種又は 2 種以上である請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾール。

20

【請求項 8】

前記噴射ボタンを 1 回押下げた場合の前記エアゾール原液の噴射容量が $0.1 \sim 3.0 \text{ mL}$ に調整される請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾール。

【請求項 9】

前記エアゾール原液を処理空間に噴射した場合の気中への前記匍匐害虫、ダニ防除成分の放出量が $0.1 \sim 50 \text{ mg/m}^3$ となるように設定されている請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾール。

【請求項 10】

前記噴射ボタンを繰り返し押下する回数が 18 回以上において前記噴射ボタンの戻り状態に変化がないように構成してある請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾール。

30

【請求項 11】

請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾールを用いて前記エアゾール原液を処理空間に噴射して匍匐害虫又はダニをロックダウン又は致死させる匍匐害虫、ダニ防除方法。

【請求項 12】

請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の匍匐害虫、ダニ防除用エアゾールを用いて前記エアゾール原液を処理空間に噴射して匍匐害虫又はダニを忌避させる匍匐害虫、ダニ防除方法。

40